



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

2016年(平成28年)
6月15日(水)

2016年6月15日 中日新聞 朝刊より引用抜粋

日本ウエストン 岐阜市

「伝票提出ありがとございまして」「いつも「りず」に優しく教えてくださりありがとございます」

機械の油や汚れを拭き取る布「ウエス」のレンタルやクリーニングを手掛ける「日本ウエストン」(岐阜市柳津町高桑)では、こんな言葉が書かれたカードが壁に掲げられている。その名も「ありがとカード」。社員同士が思いやりのある行動に対して、感謝の気持ちを伝えている。

名刺大のカードにメッセージを書き、相手社員の似顔絵が描かれたケースに入れる仕組み。一人が何枚書いてもよく、自分宛てに書かれたカードは三カ月一度まとめて渡される。月に数百枚書く社員もいるという。

新入社員、長瀬紀和子さん(三)は、先輩社員の代わりに宅配便の送り状を書いたところ、つい先日初めてカードを受け取った。「先輩が気に掛けてくれていると思うとうれしい。仕事をもっと頑張りたいと励みになる」と声を弾ませる。

カードの仕組みを取り入れ

うちのイイおし

ありがとうカード



社員同士が感謝を伝える「ありがとうカード」に手を伸ばす白井社長＝岐阜市柳津町高桑の日本ウエストンで

たのは十年前。部署間でのコミュニケーション不足を感じ「社員同士で連携が取れずに進んでいる」という。幹りた」と、白井麻紗社社長(五)が他社の事例を参考にしながらオリジナルの形を考え「社員同士で連携が取れるようになり、業務もスムーズに進んでいる」という。幹

部社員は感謝の言葉に、指摘や改善点も添える。カードのやりとりで「社内通貨」が発行されるのも魅力。書けば日本ウエストン、受け取れば日本ウエストンで食料品や図書カードなど交換できる。「部下の良いところを積極的に見つけられるようになった」という工場長の黒木誠さん(四)は「それが目的ではないが、社内通貨をもらえることで職場全体のモチベーションも高まる」と話す。「まずは社員が輝かないと、お客さまに良いサービスを提供できない」と力を込める白井社長。ユニークな福利厚生策で、社員のやる気を引き出している。(嶋村光希子)

心伝え合い 社内連携

日本ウエストン 1970(昭和45)年創業。従業員30人。障害者雇用にも力を入れており、有識者らが選ぶ「第2回『日本でいちばん大切にしたい会社』大賞」で中小企業部門大賞の中小企業庁長官賞を2012年に受けた。